



国昌寺は、曹洞宗の寺で大崎山といい、染谷(大宮市)常泉寺の末寺で、徳川家光から寺領 10 石の朱印地が寄贈されている。開山は心巖宗智で、中興開山は能書家としても著名な大雲文龍である。

山門は、江戸時代中期(宝暦頃)の建築で、市指定文化財である。欄間の龍は、左甚五郎の作と伝えられるもので、棺を担いでこの門をくぐり抜けると、龍に中身を喰われて軽くなるという伝説をもっている。また、この龍はもと見沼に住んでいて作物を荒らしたので、日光から帰る途中の左甚五郎に龍を彫ってもらい、釘づけにして門におさめたという伝説もある。

境内には、センダンバノボダイジュ(市指定天然記念物)と阿弥陀一尊種子板塔婆(市指定有形文化財)である。また、寺宝として大雲文龍書の大弁才尊天号の軸物(市指定有形文化財)がある。

大雲文龍は、名僧智識として、その名は朝廷にまで達し、特に書に秀でていたため、時の帝から 3 度も召されて、書を指南したと伝える。

昭和 58 年 3 月 さいたま市 掲示物より



0001_国昌寺



0002_国昌寺



0003_国昌寺



0004_国昌寺



0005_国昌寺



0006_国昌寺



0007_国昌寺



0008_国昌寺



0009_国昌寺



0010_国昌寺



0011_国昌寺



0012_国昌寺



0013_国昌寺



0014_国昌寺



0015_国昌寺



0016_国昌寺



0017_国昌寺



0018_国昌寺



0019_国昌寺



0020_国昌寺



0021_国昌寺



0022_国昌寺



0023_国昌寺



0024_国昌寺



0025_国昌寺



0026_国昌寺



0027_国昌寺



0028_国昌寺



0029_国昌寺



0030_国昌寺



0031_国昌寺



0032_国昌寺



0033_国昌寺



0034_国昌寺



0035_国昌寺



0036_国昌寺



0037_国昌寺



0038_国昌寺



0039_国昌寺



0040_国昌寺



0041_国昌寺



0042_国昌寺



0043_国昌寺



0044_国昌寺



0045_国昌寺



0046_国昌寺



0047_国昌寺



0048_国昌寺



0049_国昌寺



0050_国昌寺



0051_国昌寺



0052_国昌寺



0053_国昌寺



0054_国昌寺



0055_国昌寺



0056_国昌寺



0057_国昌寺



0058_国昌寺



0059_国昌寺



0060_国昌寺



0061_国昌寺



0062_国昌寺



0063_国昌寺



0064_国昌寺



0065_国昌寺



0066_国昌寺



0067_国昌寺



0068_国昌寺



0069_国昌寺



0070_国昌寺



0071_国昌寺



0072_国昌寺



0073_国昌寺



0074_国昌寺



0075_国昌寺



0076_国昌寺



0077_国昌寺



0078_国昌寺



0079_国昌寺



0080_国昌寺



0081_国昌寺



0082_国昌寺



0083_国昌寺



0084_国昌寺



0085_国昌寺



0086_国昌寺



0087_国昌寺



0088_国昌寺



0089_国昌寺



0090_国昌寺



0091_国昌寺



0092_国昌寺



0093_国昌寺



0094_国昌寺



0095_国昌寺



0096_国昌寺



0097_国昌寺



0098_国昌寺



0099_国昌寺



0100_国昌寺



0101_国昌寺



0102_国昌寺



0103_国昌寺



0104_国昌寺



0105_国昌寺



0106_国昌寺



0107_国昌寺



0108_国昌寺



0109_国昌寺



0110_国昌寺



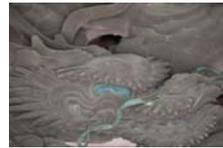
0111_国昌寺



0112_国昌寺



0113_国昌寺



0114_国昌寺



0115_国昌寺



0116_国昌寺



0117_国昌寺



0118_国昌寺



0119_国昌寺



0120_国昌寺



0121_国昌寺



0122_国昌寺



0123_国昌寺



0124_国昌寺



0125_国昌寺



0126_国昌寺



0127_国昌寺



0128_国昌寺



0129_国昌寺